

せんなんネットワーク

第119号

発行：みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部

平成29年度仙南支部交流会の開催

仙南支部では毎年、会員相互の交流や情報交換をとおして、会員の地域づくり活動を推進するため、支部交流会を開催しています。今年度は平成29年11月21日（火）、大河原合同庁舎を会場に仙南支部交流会を開催しました。当日は会員の皆様をはじめ、地域おこし協力隊や行政職員の方々20名に御参加いただき、様々な立場の方同士、交流を深めることができました。

第1部 持続可能な地域づくりのカンドコロ

第1部では、筆甫地区振興連絡協議会 事務局長で筆甫まちづくりセンターに勤務されている吉澤武志氏をお招きし「持続可能な地域づくりのカンドコロ」と題してご講演いただきました。吉澤事務局長は丸森町筆甫地区で住民と一体となり地域課題の解決に取り組むとともに、地域資源を活かした取組や地区住民の助け合い事業等を行い、持続的な地域づくりを目指して活動されています。講話では筆甫地区の地域づくりの事例などを御紹介いただきました。



同協議会は地域コミュニティの持続化に向けて、地域の魅力の向上や、広報による地域情報の発信、外部からの支援を積極的に受け入れるなど「攻め」の取組を行うとともに、住民の暮らしの満足度の向上、困りごとの解決など「守り」の取組も実践しています。攻めと守りの組み合わせにより、地域課題を解決するだけでなく、人が集まるような環境をつくることで関係者を地域に巻き込んでいくことを大切にしているなど貴重なお話を伺うことができました。

第2部 センナン・ザ・ドリームマッチ2

第2部では「センナン・ザ・ドリームマッチ2」と題して、参加者がグループに分かれて情報交換を行いました。進行を吉澤事務局長に務めていただき、各グループでそれぞれが所属する団体や組織の運営の向上を図るため「実践していること、大切にしていること」を発表し、意見交換を行いました。その後、それぞれ他グループの意見をまとめた資料を見て回り、共感するものにシールを貼り付け、全体での情報共有を行いました。「遊び心・ワクワク感を大切にしている」「思ったことは遠慮せず発言する」など、参加者から数多くの意見がありました。



交流会終了後のアンケートでは、「いろいろな人の意見を聞くことができ、今後自分がどうしていきたいかの参考になった」などの御感想をいただき、参加者の皆さんの地域づくり活動の参考になった様子でした。

参加者の感想コーナー

○第1部は「持続可能な地域づくりのカンドコロ」と題し、丸森町「筆甫地区振興連絡協議会」事務局長の吉澤武志氏から、地域の課題解決や魅力ある地域、誇りある地域づくりの講話を頂き、会場が熱気に包まれました。

第2部の情報交換は「センナン・ザ・ドリームマッチ2」と題して、参加者がグループに分かれ、活動のカンドコロを発表しました。私のカンドコロは「自然の不思議に感動する心を忘れないようにする」でした。どのグループも和気藹々と話しが尽きず、楽しい時間となりました。(NPO法人ブナと水を守る会(仙南支部副支部長)白内 恵美子さん)

○丸森町筆甫振興連絡協議会 事務局長 吉澤武志氏の講話を聞き、重要なポイントと感じたのは、住民アンケートを実施し、住民が地区に対してどういったことを求めているのかをしっかりと調査をしていた部分です。特に多かったのが「イノシシなど害獣」「草刈り」などの「生活」に関すること。逆に「忘年会」「花いっぱい地域の美化」などの「イベント関連」の意見はほとんどの世代で下位をしめていました。

この部分から読み取れるのが「地区のニーズ」に合わせたことをやる大切さです。私は現在、地域おこし協力隊として活動していますが、実際に活動してみると「交流人口増加・移住促進」よりも、住民からのニーズは「イノシシの被害に困っている」といった、地区の生活、治安に関する声が多かったです。そのため、活動する上では「自分のやりたいこと・できること」と「地区住民が望んでいること」を直接現場に足を運んで、自分自身の目でしっかり分析し、行動していかないと、この仕事は成功しないと強く感じました。そして地区の悩み(ニーズ)を解決できれば、それはビジネスにつながると思います。その部分を意識して、今後の活動に活かしていきたいと思います。(角田市地域おこし協力隊 舟山 直道さん)

会員活動紹介

白石市国際交流協会

白石市国際交流協会は、白石市民が外国の方と交流し、国際理解を深めることを目的に活動している団体で、市民の方々が気軽に国際交流を行えるようなイベント開催などの活動をされています。

主催イベント「国際カフェ」では、他の国の文化や簡単なあいさつ、白石を訪れた方へのおもてなしについて学んだり、市内のALT(外国語指導助手)との交流などを行っています。今年度は幅広く国際理解を深めるためフランス、台湾、韓国をテーマにしてカフェを開催し、その言語に精通している方を講師としてお呼びしました。また、東北大学の国際祭りにも参加し、陣羽織の試着、書道や折り紙の体験コーナーを設け、たくさんの外国の方に白石をPRしました。

このほか、食文化をとおして国際理解を深めることを目的に「料理を通して世界を知る会」を毎年開催しています。今年度は仙台市在住で台湾出身の中国語講師の方をお呼びして台湾バーガーや台湾スイーツなどを作り、食文化のほか日本と台湾のつながりや文化の違いについてお話を伺うなど、楽しく学びました。

また、今年度、イベントなどで着用するオリジナルの法被を新たに作成しました。法被には白石市を象徴する、お城やこけし、温麺などがデザインされており、外国の方とのお話のきっかけになっているそうです。

今後は白石を訪れた外国人観光客の方に、その国の言葉で挨拶をしたり白石を紹介できるように、さらにおもてなし力を磨いていきたいとお話を伺うことができました。



「東北大学国際祭り」での1枚
紫色のオリジナル法被を着用

今年度、仙南地域に新たに着任した「地域おこし協力隊」を紹介します。

？地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化などに悩む地方自治体が都市住民を受け入れて、農林業の応援や住民の生活支援などの活動を行ってもらいながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

丸森町



三浦 昌志さん

昨年の11月より丸森町大内地区地域おこし協力隊として活動しています。現在、大内地区は情報発信が弱いため、大内まちづくりセンターのホームページ更新と丸森町大内のFacebook更新を行っています。

今後は農業を通じて大内の魅力を伝えていき、大内のファンを増やしていけるように頑張っていきます。



小笠原 有美香さん

今年の1月より筆甫地区で活動しています。担当は「お店づくり」です。住民のみなさんの暮らしの向上・買物弱者対策として、旧農協店舗を利用した「ひっぽのお店(仮)」の開設・運営をおこないます。また、震災後に途絶えた外部からの人の流れを取り戻すことを目指し活動していきます。



早川 真理さん

「まるまるまるもりプロジェクト」で起業型の地域おこし協力隊として活動しています。私の任務は空き家を改築して小さな宿と食事処をつくり、「農」を中心とした地域の新たなコミュニティ拠点を創造することです。前職は町内で「丸森“こらいん”ツアーリスト」という着地型旅行社の企画と添乗の仕事をしていました。丸森町の魅力を誰よりも感じている者としては、愛するこの地で地域の方たちと新しいモノ・コトを創造できるという、これ以上の喜びはありません。現在は春からの仮営業開始に向けて準備中ですので、応援よろしくお願ひします！



柴田 北斗さん

今年の1月より宮城に戻り、丸森町地域おこし協力隊として活動しています。東北に関わる人がよりいきいき生きられるよう、成長・学習・移住促進といった観点から丸森・東北を盛り上げていきたいと思っています。起業して継続していくことをミッションとするため、現在は既に人が集まる地域のハブとなっている県内の起業家の元で修行(研修)をしております。大好きな東北でワクワクして生きていきたいと思っておりますので、ぜひ町内の皆様のところへもお伺いさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

七ヶ宿町



水谷 真人さん

地域おこし協力隊として、七ヶ宿町で陶芸をしています。『町の土と薪を用いた七ヶ宿焼きを生み出す』という理念に興味を持ち、移住しました。本格的な土堀りや薪割りができる活動にやりがいを感じます。1年目は慣れるのに精一杯でしたが、2年目は積極的に行動し、素晴らしい七ヶ宿焼きを生み出したいです。

SNJは平成26年に発足した宮城県南並びにその近郊で地域づくりに携わる団体や個人、行政職員等によるゆるやかなネットワークです。勉強会などを通じて交流を行い親睦を深めています。

2月15日(木)には第18回勉強会が開催され、『取り組みたい・応援したい・仲間つくりたい情報交換会』と題して参加の皆さんの活動や、今後取り組んでいきたいことの発表会があり、仙南地域で起業支援活動や地域活動をされている6名の方々のお話をきくことができました。

次回の開催は4月を予定していることです。ご参加を希望される方や活動に興味がある方は、下記に詳細が掲載されますのでご確認ください。

<http://www.facebook.com/SNJ-168085043804501/>



お知らせ

地域づくり団体全国協議会からのお知らせ

地域づくり団体全国協議会では、平成30年度より、(一財)地域活性化センターの賛助会員となった登録団体に対し、より適切な支援を行っていくこととしており、登録情報調査に併せ、賛助会員への入会意思の確認を行っております。賛助会員となった場合の、全国協議会会員に対する支援内容の違いは下記の表のとおりです。

支援内容等		平成29年度	平成30年度以降	
		全国協議会員	全国協議会員	
			賛助会員になった場合	賛助会員にならない場合
年会費		無料	3,000円	無料
月間情報誌 「地域づくり」	本編	送付	送付	送付
	別冊	送付	送付	
	特集編	送付	送付	
地域づくり団体全国協議会 助成事業		利用可	利用可	

なお、全国協議会に加入されている仙南支部会員の皆様には、仙南支部事務局から昨年9月に登録情報調査と賛助会員への加入の意思確認の調査票をお送りしています。御回答がない場合は平成30年3月31日付けで全国協議会から退会となりますので、未回答の仙南支部会員の方は当事務局までお問い合わせください。

※御回答がない場合でも、みやぎ地域づくり団体協議会の会員は継続となります。

※現在、全国協議会に未加入の会員の方で、全国協議会加入を御希望される場合は、当事務局まで御連絡ください。

事務局からのお知らせ

情報提供にご協力をお願いします

仙南支部では、地域づくりに関するイベントや参加者募集など、皆さまからいただいた情報を支部ホームページに随時掲載します。また、チラシ等がありましたら、大河原合同庁舎内をはじめ、管内の集客施設等に設置させていただきます。PRしたい情報がありましたら、下記の宛先までお送りください。皆さまからの情報提供をお待ちしております。

会員訪問を実施しています

仙南支部事務局では、会員の皆様の活動状況等についてお伺いするため、会員訪問を実施しています。訪問の際は、事務局から皆様に連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本紙についての御意見や、当支部についての御意見・御要望等ありましたら、こちらまでお寄せください。

《みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部事務局》

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部 商工・振興第一班

〒989-1243 宮城県柴田郡大河原町字南 129-1

電話 0224-53-3199 FAX 0224-53-3076

e-mail oksinbk@pref.miyagi.lg.jp

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/tiikidukuriindex.html

